

○報告書（中核サミット 2021 i n 松山）

日 時：令和3年11月11日（木）～12日（金）
会 場：松山市（ANAクラウンプラザホテル松山）

参加者：江村卓三

○開会式（11月11日13時00分～13時30分）

・基調講演（13時35分～14時35分）

「ポストコロナ時代に求められる中核市の役割」

東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二

中核市は地域の核として、地方分権の推進と地域の発展に大きな役割をはたしてきました。ポストコロナ時代に向けた変革の動きや人口減少・少子高齢化が加速する今、中核市は新しい時代の流れを力にしながら、将来にわたって持続可能な形で、地域の発展を牽引していく必要があるとのことでした。

中核市も62市あり、そのまちの歴史のなかでどのような生活がされてきたかなど、将来の未来像としてのビジョンを如何に描けるかが必要となってくるとのことでした。

・パネルディスカッション【第2会場】（14時50分～16時10分）

コロナ禍は、社会経済をはじめ、人々の行動や価値観にまで様々な変化をもたらしており、自治体を取り巻く課題やニーズは、ますます複雑・多様化してきている。

一方、それらに対応するための人材や資金、ノウハウなどは今後不足していくと見込まれており、様々なステークホルダーと連携して経済や環境、社会の三側面から統合的に解決を図るSDGsの推進など、多様な連携により複雑課題を同時解決し、新たな価値を創出する取組がこれまで以上に重要となっている。

そこで、中核市の先進事例をパネルディスカッションにより紹介。

1) 富山市長 藤井 裕久

富山市は、コンパクトなまちづくりとして、鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトな町づくりを実現。これも、持続可能な付加価値創造都市を目指して実施されたものでした。そして、富山市が目指す「まちの将来像」である、コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現のための、取組方針などを紹介。

2) 松江市長 上定 昭仁

島根県、鳥取県の人口は、全国で 46 番・47 番と少ないため、松江市は県境を越えた広域連携により、隣接する 5 市（島根県側；松江市、出雲市、安来市。鳥取県側：米子市、境港市）で商工会議所を中心とした「ブロック経済協議会」を設置し、経済界と行政とが協働して各事業を実施している内容を紹介。

そしてまた、市の弱いところを他市の状況を参考にしてプラスにしていこうと試みをしているとのことでした。

3) 松山市長 野志 克仁

松山市は、多様な連携による「持続可能な」まちづくりを目指し、2030 年に実現したい未来像として、先人から受け継がれてきた数多くの宝（優れた自然環境や歴史・文化資源）を活かした、安全で環境にやさしい持続可能な「観光未来都市まつやま」として、市の内外の主体が協働で、さまざまな課題を解決していくための経済・社会・環境の紹介がありました。

（感想）

富山市は「富山市SDGsサポーター」を2019年度から開始され、松山市は「松山市SDGsサポーターズクラブ」を設置するなどSDGsを自分ごととして捉え、実践させておられることに感心しました。また、産学官民が立場を越えて対話をする場を設け、未来のビジョンを共に描き、共有したうえで、地域課題を明確化するとともに、実証を通して解決に取り組み、新たな価値を創造される話が面白く多いに参考になりました。



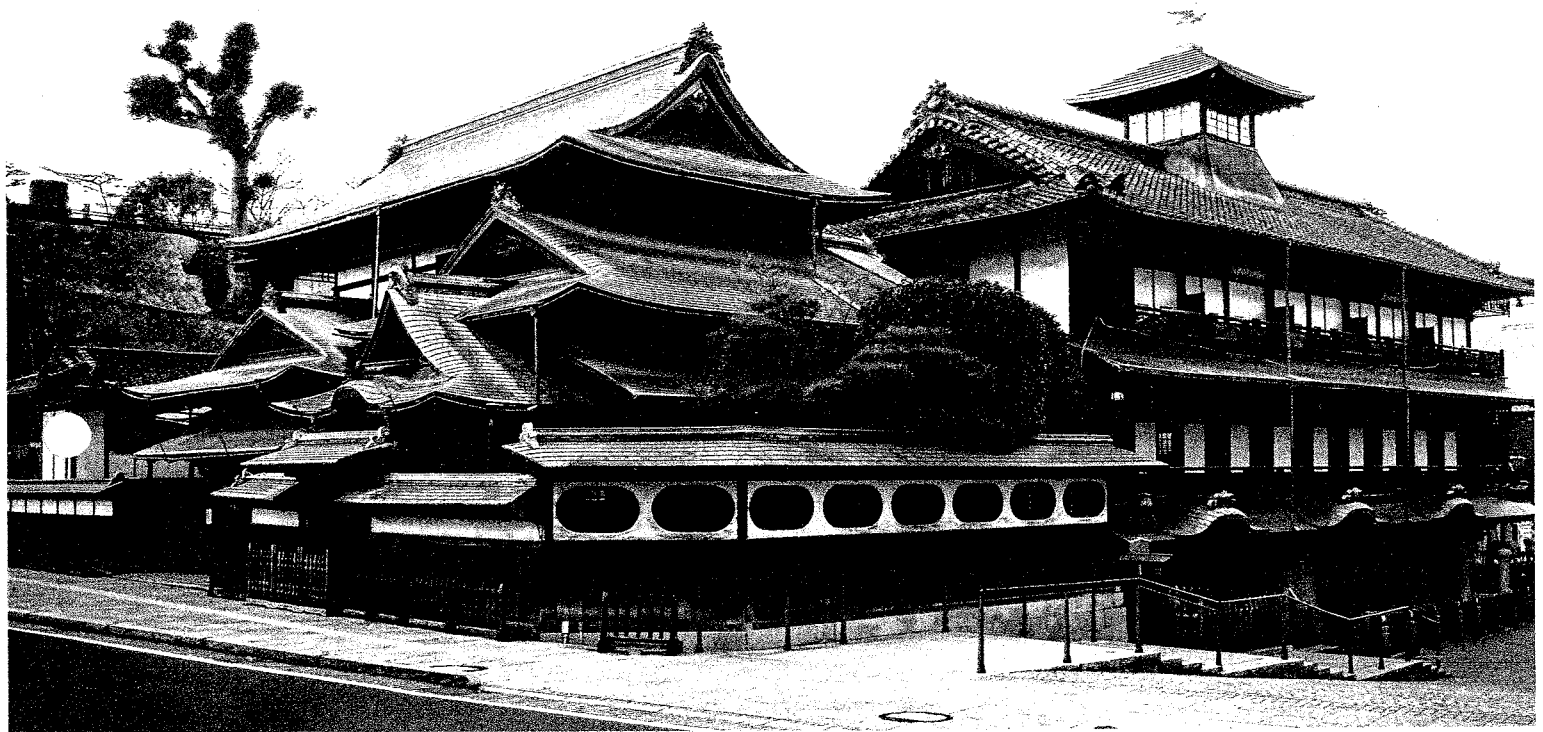
力強く、持続可能な中核市へ
～未来を切り拓く新時代のまちづくり～

中核市サミット

2021 in 松山

2021 **11.11** [木]

プログラム



中核市市長会

- | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| ● 函館市 | ● 郡山市 | ● 越谷市 | ● 甲府市 | ● 大津市 | ● 姫路市 | ● 倉敷市 | ● 長崎市 |
| ● 旭川市 | ● いわき市 | ● 船橋市 | ● 長野市 | ● 豊中市 | ● 尼崎市 | ● 呉市 | ● 佐世保市 |
| ● 青森市 | ● 水戸市 | ● 柏市 | ● 松本市 | ● 吹田市 | ● 明石市 | ● 福山市 | ● 大分市 |
| ● 八戸市 | ● 宇都宮市 | ● 八王子市 | ● 岐阜市 | ● 高槻市 | ● 西宮市 | ● 下関市 | ● 宮崎市 |
| ● 盛岡市 | ● 前橋市 | ● 横須賀市 | ● 豊橋市 | ● 枚方市 | ● 奈良市 | ● 高松市 | ● 鹿児島市 |
| ● 秋田市 | ● 高崎市 | ● 富山市 | ● 岡崎市 | ● 八尾市 | ● 和歌山市 | ● 松山市 | ● 那覇市 |
| ● 山形市 | ● 川越市 | ● 金沢市 | ● 一宮市 | ● 寝屋川市 | ● 鳥取市 | ● 高知市 | |
| ● 福島市 | ● 川口市 | ● 福井市 | ● 豊田市 | ● 東大阪市 | ● 松江市 | ● 久留米市 | |

プログラム

開会式

13:00~13:30

- ① 主催者歓迎挨拶 中核市市長会会長 高槻市長 濱田 剛史
- ② 開催市歓迎挨拶 松山市長 野志 克仁
- ③ 来賓祝辞 総務省大臣官房審議官…………… 阿部 知明 様
中核市市長会相談役・一般財団法人 地方債協会会長…………… 香山 充弘 様
愛媛県知事…………… 中村 時広 様
- ④ 講師・来賓紹介 【講 師】 東京大学大学院工学系研究科 教授…………… 羽藤 英二 様
【来 賓】 総務省大臣官房審議官…………… 阿部 知明 様
中核市市長会相談役・一般財団法人 地方債協会会長…………… 香山 充弘 様
愛媛県知事…………… 中村 時広 様
愛媛県議会議長…………… 中畑 保一 様
中核市議会議長会会長…………… 中川 明雄 様
松山市議会議長…………… 若江 進 様
- ⑤ コーディネーター・コメンテーター紹介 【第1会場 コーディネーター】 松山大学 副学長・経営学部教授…………… 檀 裕也 様
【第1会場 コメンテーター】 富士通 Japan 株式会社 執行役員常務兼 CMO 竹岡 ゆかり 様
【第2会場 コーディネーター】 愛媛大学社会連携推進機構 教授・SDGs 推進室副室長 前田 眞 様
【第2会場 コメンテーター】 東京理科大学理工学部建築学科 教授…………… 伊藤 香織 様
- ⑥ 役員市長紹介

基調講演

13:35~14:35

ポストコロナ時代に求められる中核市の役割

東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二 様

パネル ディスカッション

14:50~16:10

[第1会場] デジタルを原動力とした「力強い」まちづくり

松山大学 副学長・経営学部教授 檀 裕也 様

富士通 Japan 株式会社 執行役員常務兼 CMO 竹岡 ゆかり 様

[第2会場] 多様な連携による「持続可能な」まちづくり

愛媛大学社会連携推進機構 教授・SDGs 推進室副室長 前田 眞 様

東京理科大学理工学部建築学科 教授 伊藤 香織 様

全体会議 閉会式

16:25~17:00

- ① 各コーディネーターによる各パネルディスカッションの報告等
- ② サミット宣言 (宣言文起草、提示、採択、宣言)
- ③ 次回開催市挨拶 次回開催市 豊田市副市長 安田 明弘 様
- ④ 閉会挨拶 中核市市長会副会長 柏市長 秋山 浩保

